

ICoMST2022 News Letter No.1

発行者：第 68 回国際食肉科学技術会議
組織委員会 発行責任者 坂田亮一
発行日：2020. 12. 1



68th International Congress of
Meat Science and Technology
August 21-25, 2022

■ News Letter の発行に寄せて

2022 年 8 月に日本で 2 度目の開催が決定している国際食肉科学技術会議（68th ICoMST、または ICoMST2022 と表記）について、主催団体の日本食肉研究会会員の皆さんには定期刊行誌「海外事情」の参加報告などで、準備の進捗をお伝えしてきました。また日本食肉研究会ホームページでも会議の情報を発信し、ご覧いただいたと思います。



この News Letter では、会議について、68th ICoMST の後援団体、協賛団体、顧問の皆様にも準備の進捗をタイムリーにお伝えすべく、発行致します。皆様におかれましては準備の進捗状況についてご理解いただき、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。



■ これまでの経緯

組織委員会は 2 年前に立ち上げており、最新の会議（本年 10 月開催）で 7 回目になります。組織委員会は、財務、広報、登録、プログラム、会場、宿泊・ツアー、行事・接遇、展示、総務の 9 つの部会に分かれており、それに、事務局と協賛の窓口となる募金委員会があります。

2018年5月19日に作成、以後会議の都度更新

立ち上げ時期の要点

内容は「日本政府観光局 国際会議開催マニュアル 第 1 章」に基づく

1. 組織作り
2. 予算作成
3. 全体の計画づくり

ICoMST2022 組織委員会を立ち上げる時の要点、組織づくり、各部会の仕事内容など、このマニュアルに沿って作成

組織委員会の構成や大まかな進め方は、組織委員会立ち上げのための準備委員会が、日本政府観光局（JNTO）発行の国際会議開催マニュアルに従って作成しました（左図）。これまで開催した組織委員会は、各正副部会長と事務局が主体で行ってきましたが、これからは状況に応じて参加委員の幅を広げる必要があります。



上から 2 つは準備委員会時の会議模様、ここで開催日や会場などを決定。一番下は、神戸国際会議場の視察風景、2017 年春



第 2 ロゴマーク、霜降りをイメージ

■今年に入ってから活動

今年に入って会議趣意書を一般会員、賛助・特別会員、顧問の方々、ならびに食肉関連団体に送り、理解と協賛を御願いし、募金も徐々に集まり出し、順調に滑り出しました。しかし、その矢先に、新型コロナウイルス流行という未曾有の問題が発生し、食肉研究会の運営はもちろん、この国際会議の開催にも影響を及ぼしております。そのような思いもしない状況となったこともあり、現在、ピッチを上げて2～3カ月に一度の間隔で会議を行っています。またリモート会議を活用し、必要に応じて部会内、部会間で随時情報共有に努めております。標題のロゴマークも作成し、それを載せた専用ホームページを立ち上げました (icomst2022.com)。

■今後の進め方

コロナの影響にいかに対処するかが焦点ですが、まずは従来通り行くことを前提に開催準備を行い、来夏のポーランドでの開催方法（今のところ ICoMST2021 ホームページでは、従来通り）、また東京オリンピックの開催の有無、海外からの人の受け入れなどを見つつ、リモートを採り入れるか否か、世界情勢を鑑み、決断する所存です。

今後皆様には、ニュースレターの形で進捗をお伝えします。食肉研究会のホームページもいつも見ていただきますよう、組織委員会委員一同よりお願い致します。

■組織委員会メンバーの異動

構成メンバーは食肉研究会 HP での役員表に記載されていますので、ご参照ください。顧問の方々の異動に関しては以下の通りです（敬称略）

- ・大澤憲一（全国食肉学校理事長）から、高橋 正 新理事長に交代
- ・木下良智（前食肉科学技術研究所理事長）から、川島俊郎 新理事長に交代
- ・南波利昭（前日本畜産物輸出促進協議会理事長）から、木下良智 新理事長に交代
- ・福原康彦（前日本ハム・ソーセージ工業協同組合理事長、前日本食肉加工協会理事長）から、柴山育朗 新理事長に交代
- ・小迫孝実（前農研機構畜産研究部門長）から、高橋清也 新部門長に交代



ICoMST2022 の趣意書、日本食肉研究会ホームページにもリンク



ICoMST2022 の企画案画像、当初は会期を従来の金曜までとしたが、その後、短縮し木曜まで